短期特別課題

千字文を学ぶⅡ

三体千字文を書く（28）

締切り　四月二十三日（必着）

奥村憲照先生書

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六（一九八一）年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穏健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・斉家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝（在位五〇二～五四九）の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

坐朝問道（ザチョウモンドウ）

垂拱平章（スイキョウヘイショウ）

朝廷にいて、道を求め、**何もしないで（国を）公明に治める。**

◻作品の出し方

▼硬筆部＝B5判（二五七㎜×一八二㎜）以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。（黒色に限る）

▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。（筆ペン可）

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

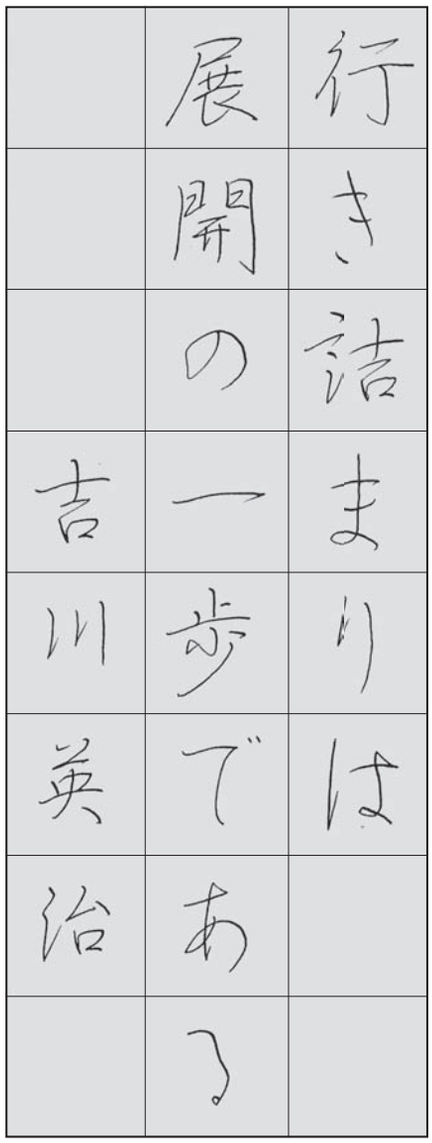
▼**事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績（毛筆の場合は毛筆漢字の成績）**を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

締切り　４月２３日(必着)

新入から１級まで



〔解　説〕

大谷清城（おおたにせいじょう）書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★行き…（書体＝行書）

吉川英治（一八九二～一九六二）

小説家「草思堂随筆」より

大きな壁にあたった時、人はもがき苦しむことでしょう。しかし、壁の前であがくことで先が開けてきます。苦難は新たな展開の始まりであり、つまずいた時に思い出したい言葉です。

生きることの最大の障害は、期待を持つということかもしれません。

◆**5月課題予告**（楷書）

芸術の仕事は
自然の物事を
真似ることなり

★才を…（書体＝楷書）

白居易（七七二～八四六）

中唐の詩人「策林」より

才とは生まれつきの資質・能力・知恵のはたらきのこと。人それぞれの才能にあった仕事が与えられれば、事をなすにあたって、才能を十分に発揮して、最高の成果を上げられることでしょう。指導者は、各人の才能をよく見極めることが大切です。

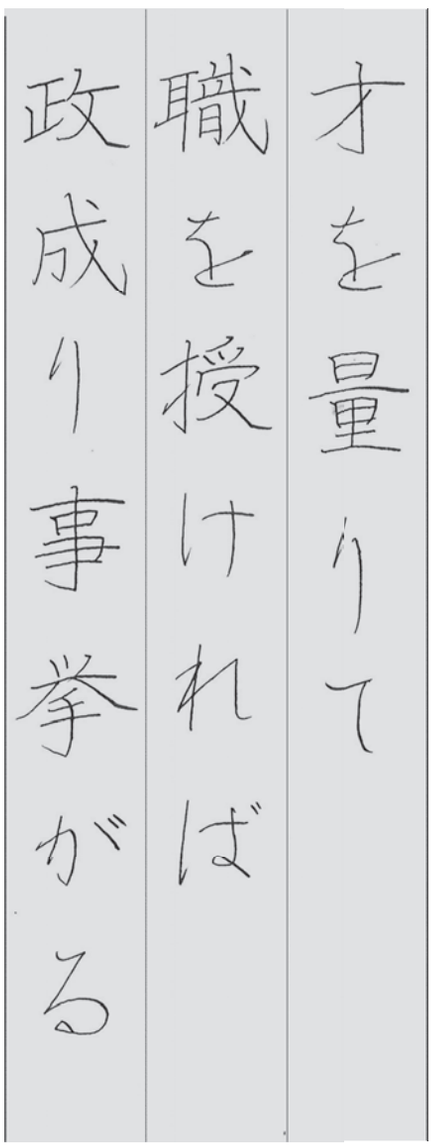
◆**5月課題予告**（行草または草書）

この道より
我を生かす道なし
この道を歩く

▼教範・書範＝行書

▼師範＝楷書

準初段から六段まで



〔解　説〕

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

◎楷書は一線一画を大切にして、力強い鋭い線で美しく、また文字の味わいも加味して運ペンすれば申し分ない。

岡田龍芳（おかだりゅうほう）書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

一般部かな課題

締切り　4月23日(必着)

新入から１級まで

方丈の大庇より春の蝶（高野素十）

〔句意〕 洛西の竜安寺を訪ねて、縁先に腰をおろして、枯山水の極地とも言うべき石庭を心ゆくまで眺め、見入っていると、ふと影を落とすものがあった。見上げて見ると、それは、方丈の大庇からひらひらと舞いおりてくる、春の蝶であった。

大宮春兆書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

準初段から六段まで

方丈の大庇より春の蝶

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

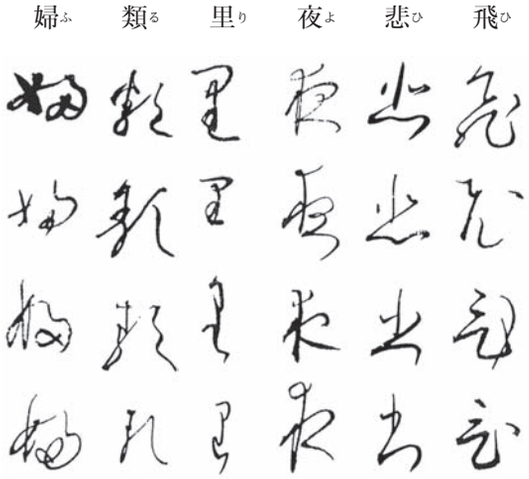
方丈の大庇より春の蝶

大宮春兆書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

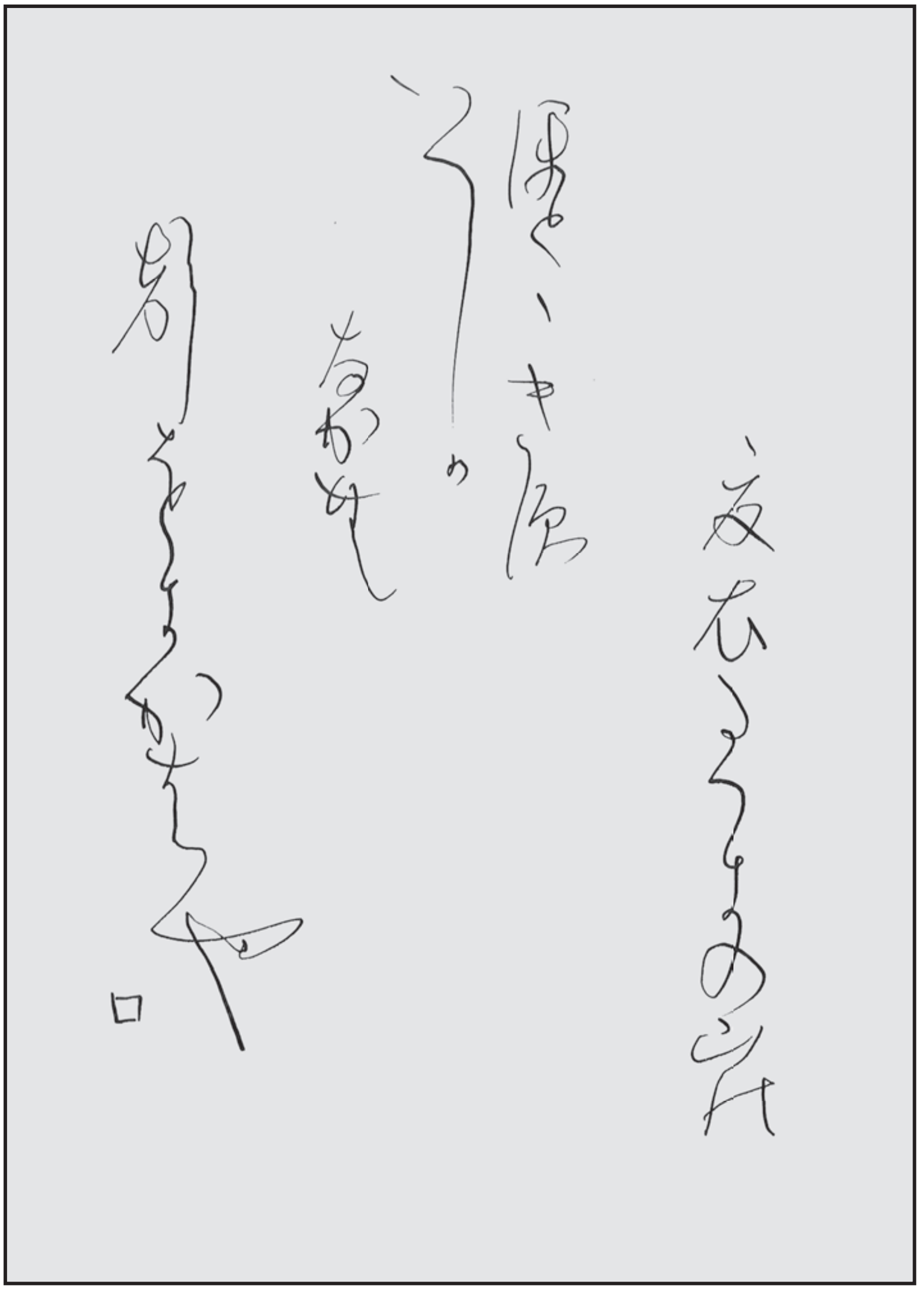
〔古筆参考〕



※かな手本執筆担当は、来月から田中貴光先生に代わります。
大宮春兆先生には五年間ありがとうございました。

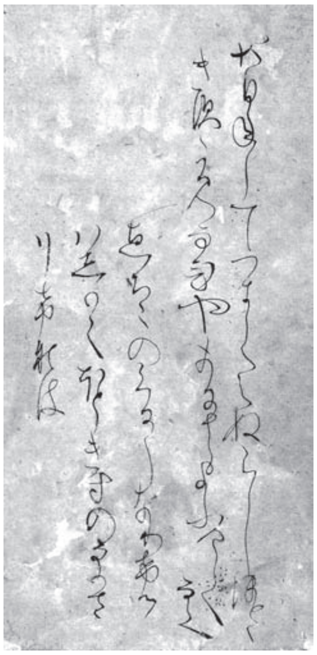
締切り　四月二十三日（必着）

簗瀬舟香書



〔古筆参考〕

香紙切



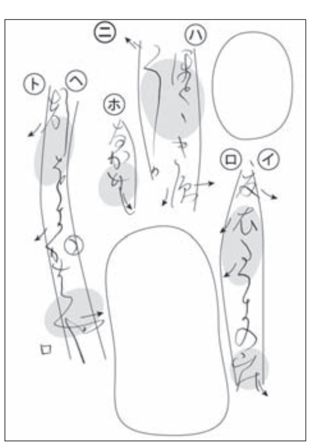
たびねしてつぎてえぬらしほとゝ
ぎすかみなびやまにさよふけてなく
ゑちごのくにゝなりける
はじかてほとゝぎすのなかざ
りければ

夏衣たつきの山の郭公
いつしか鳴かむこゑをきかばや

〔歌意〕たつき山の郭公よ、早く鳴いてほしい。その美しい初音を聞きたいものだ

〔出典〕金槐和歌集

〔解説〕



・(イ)と(ロ)、(イ)と(ヘ)、(ハ)と(ヘ)、(ハ)と(ニ)、(ホ)と(ヘ)、それぞれ呼応。
・密の動き大切。
・◯余白（間）大切。
・↙の方向大切。

◆**5月課題予告**

五月やみおぼつかなきにほとときす
深き峰より鳴きていづなり

実　用　文のページ

締切り　4月23日（必着）

いよいよ娘も就活に入りました。髪色を黒に戻し紺のスーツを着て頻繁に出掛けていきます。いつの間にか大人になった娘の緊張した表情を見ていると、心から頑張れとエールを送らずにはいられません。

作品の出し方

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。

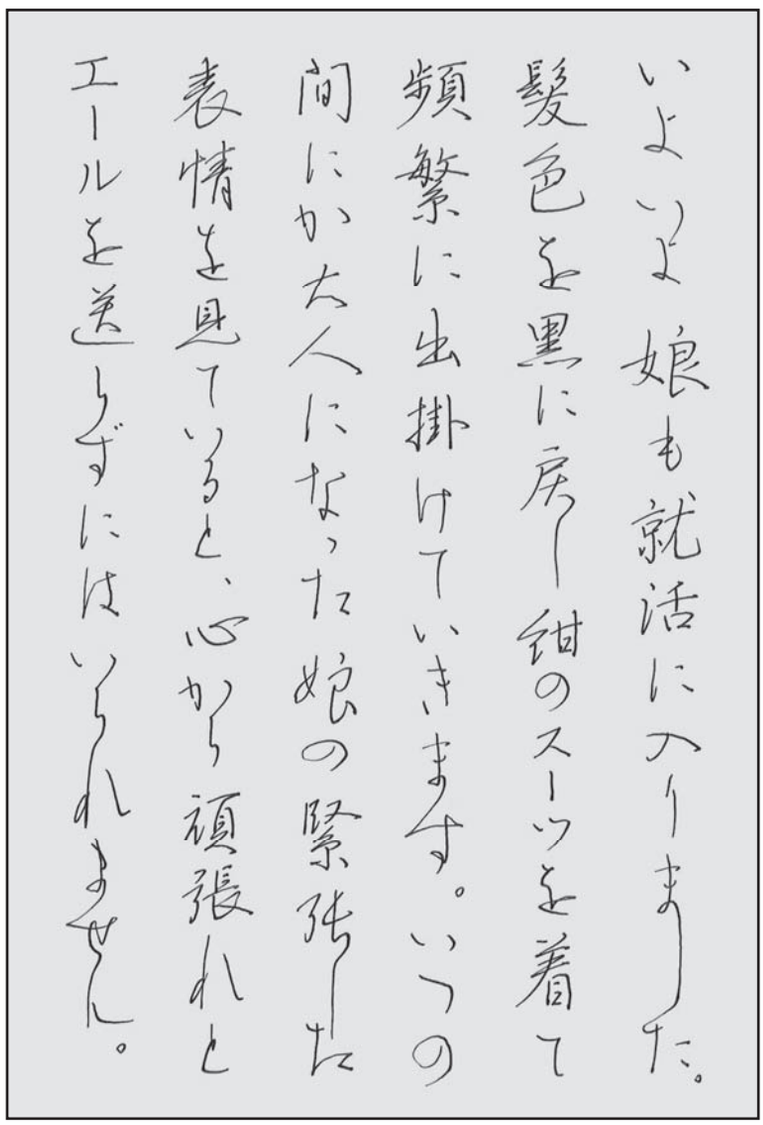
■ 用紙＝はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。

■ 用具＝はがき、横書き課題ともに自由。（黒色に限る）

■ 両課題とも、書体変換は自由です。

はがき課題

奥田三雲（おくだみくも）書



◎手本は水性ボールペン使用

横書き課題

尾郷翠光（おごうすいこう）書

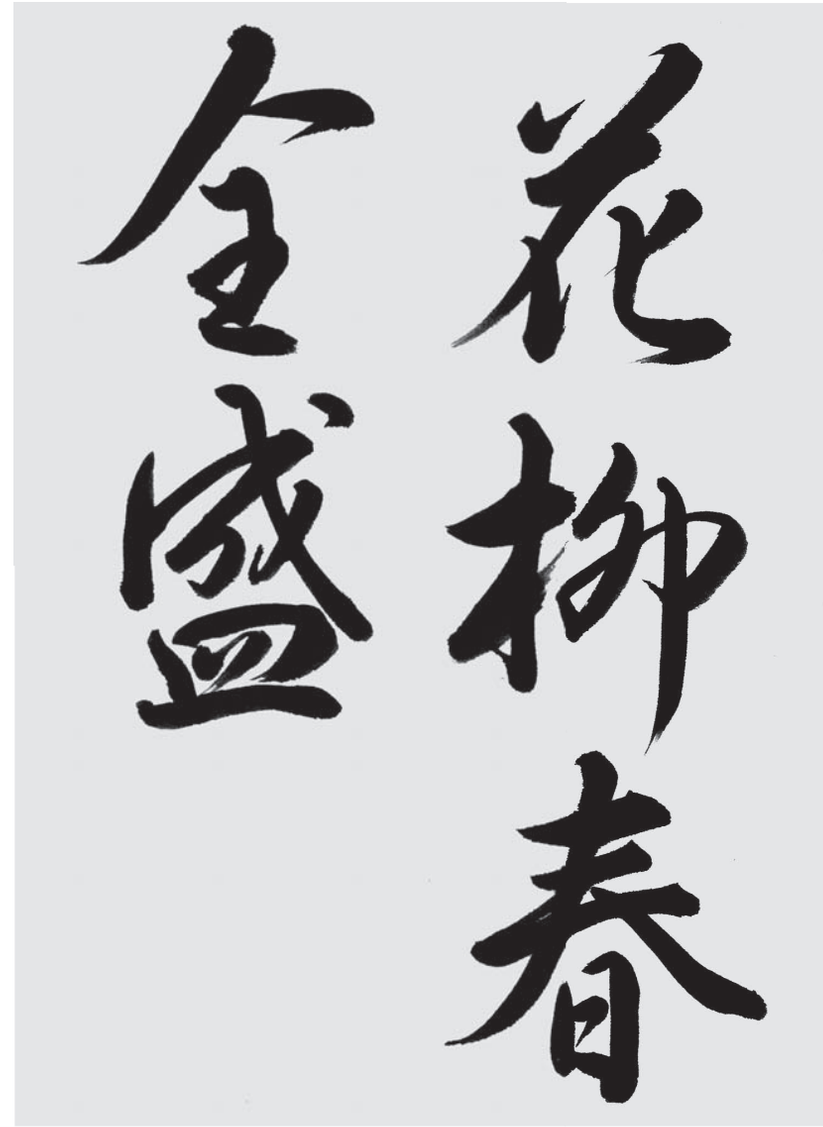
霞が関ビルの完成により，我が国
にも超高層ビルの時代が訪れた。
群馬県富岡市　　氏　名

※手本はつけペン使用。　★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り　4月23日(必着)

新入から1級まで（行書）

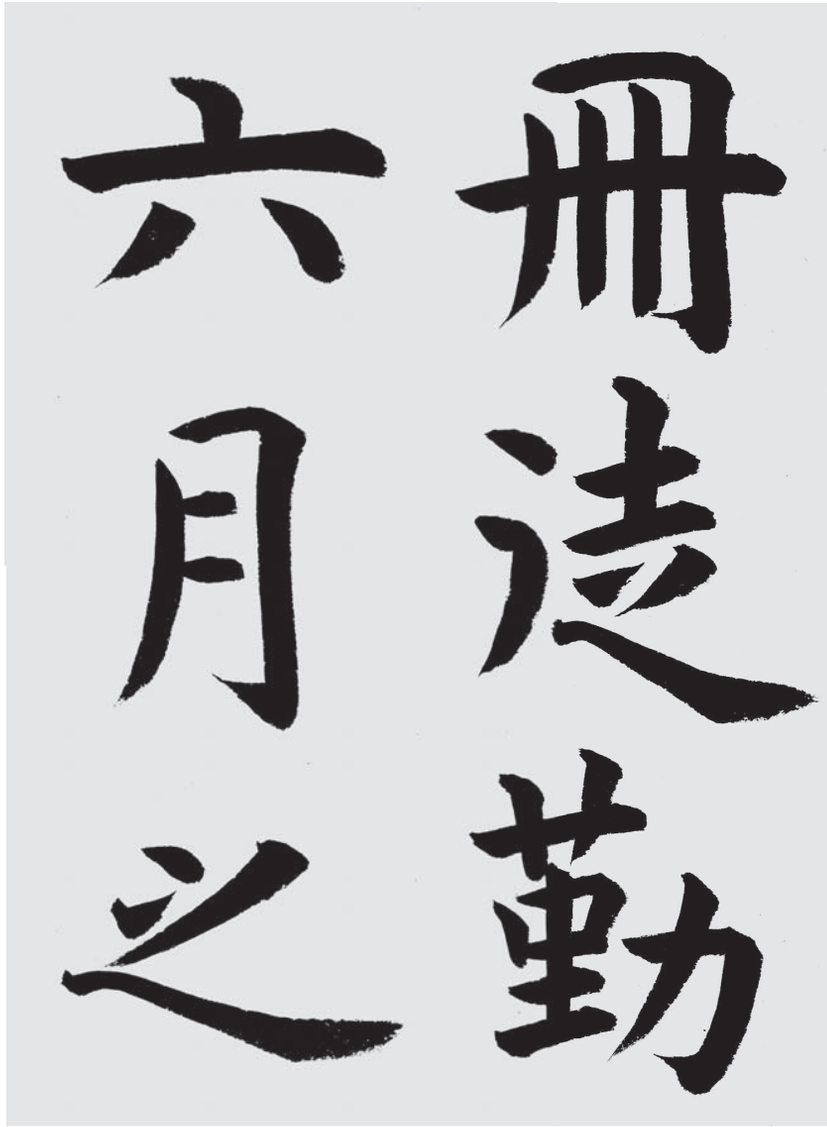


須田一葉（すだいちよう）書

〔読み〕花柳春全盛（かりゅうはるぜんせい）

〔大意〕花が咲き柳は芽吹き、春真っ盛りの景色。

準初段から師範まで



奥村暢之（おくむらのぶゆき）臨

〔出典〕孔子廟堂碑（６２６～６３３）〔筆者〕虞世南（５５８～６３８）

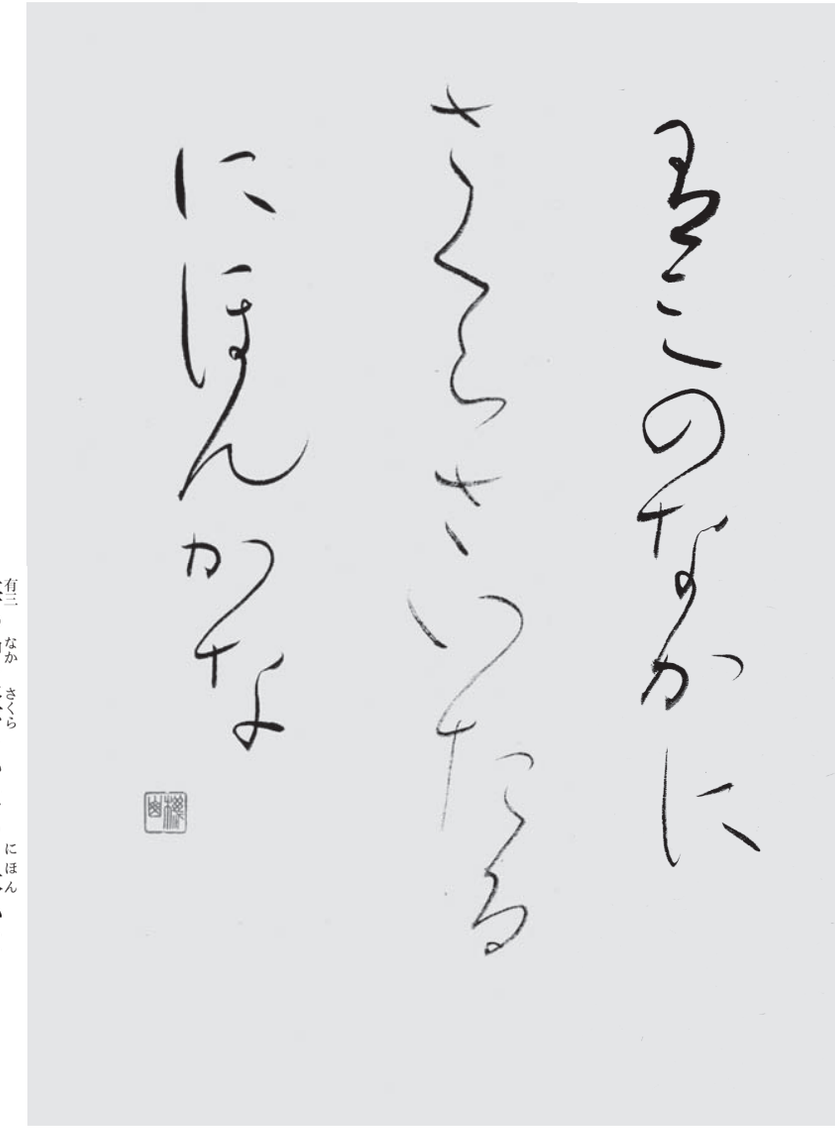
〔読み〕（下）冊（か）を（聞くのみ。）徒（いたず）らに六月の（戦を）勤むるも、

冊徒勤六月之

一般部毛筆かな課題

締切り　4月23日(必着)

新入から1級まで



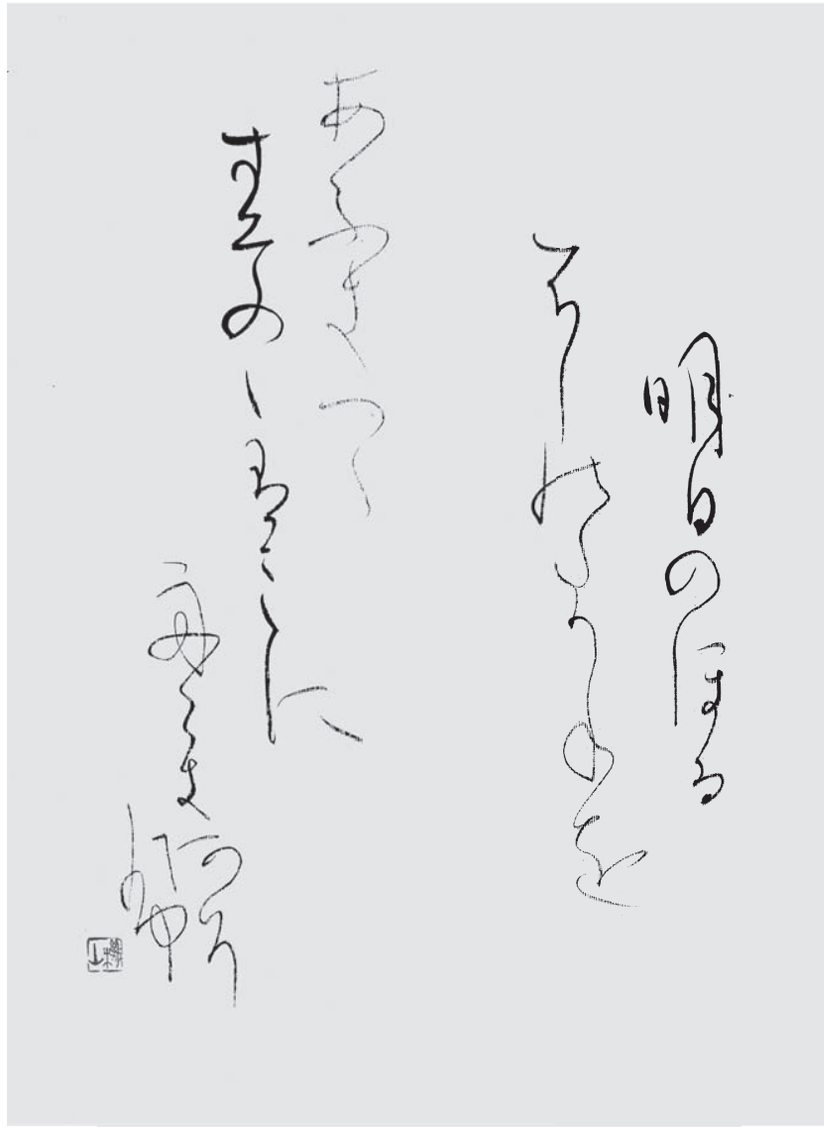
浅井機山(あさいきざん)先生書

海の中に桜(さくら)さいたる日本(にほん)かな

〔出典〕松根東洋城(まつねとうようじょう)

〔句意〕日本の美しさを賞美した句。さくらの咲いた島国日本は、高いところからみると、まるで海の中に桜が咲いたようにみえる。

準初段から師範まで



明日のぼる富士の高嶺(不二能多可年)を仰(あふ)ぎつつ(支)、裾野(すその)の湖(有二)に舟こぎあそぶ(支阿曽布)

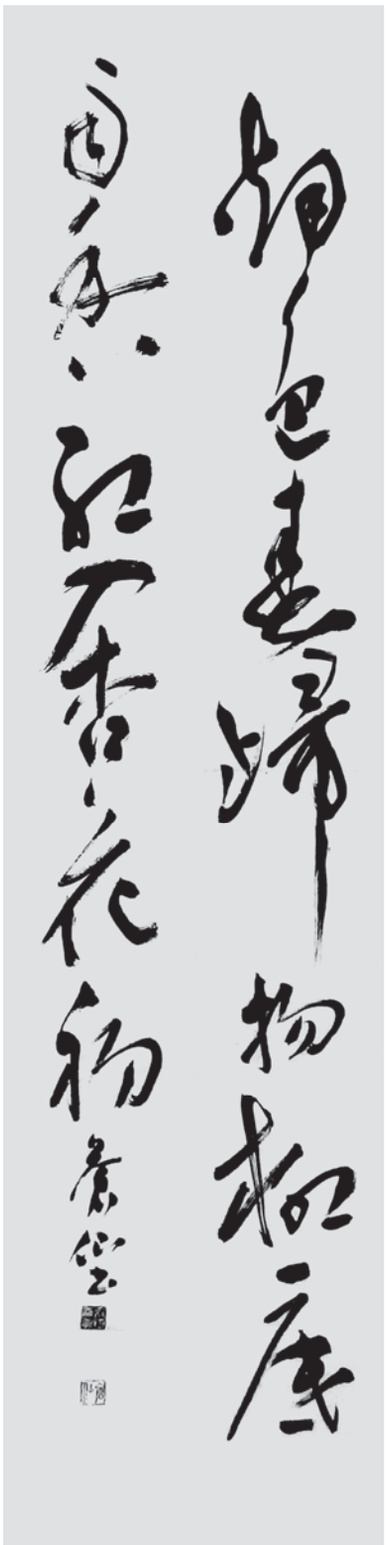
〔出典〕古泉千樫(こいずみちかし)

〔歌意〕明日は登る富士山の雄大な高嶺を仰ぎ見ながら、裾野の湖で舟を漕いで遊んでいることだ。

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

一般部毛筆条幅課題

締切り　四月二十三日（必着）　半　切（一三六㎝×三五㎝）



荻田蒼仙書

烟色春帰揚柳底（えんしょくはるにかえるようりゅうのてい）
雨香紅入杏花初（うこうこうにはいるきょうかのはじめ）

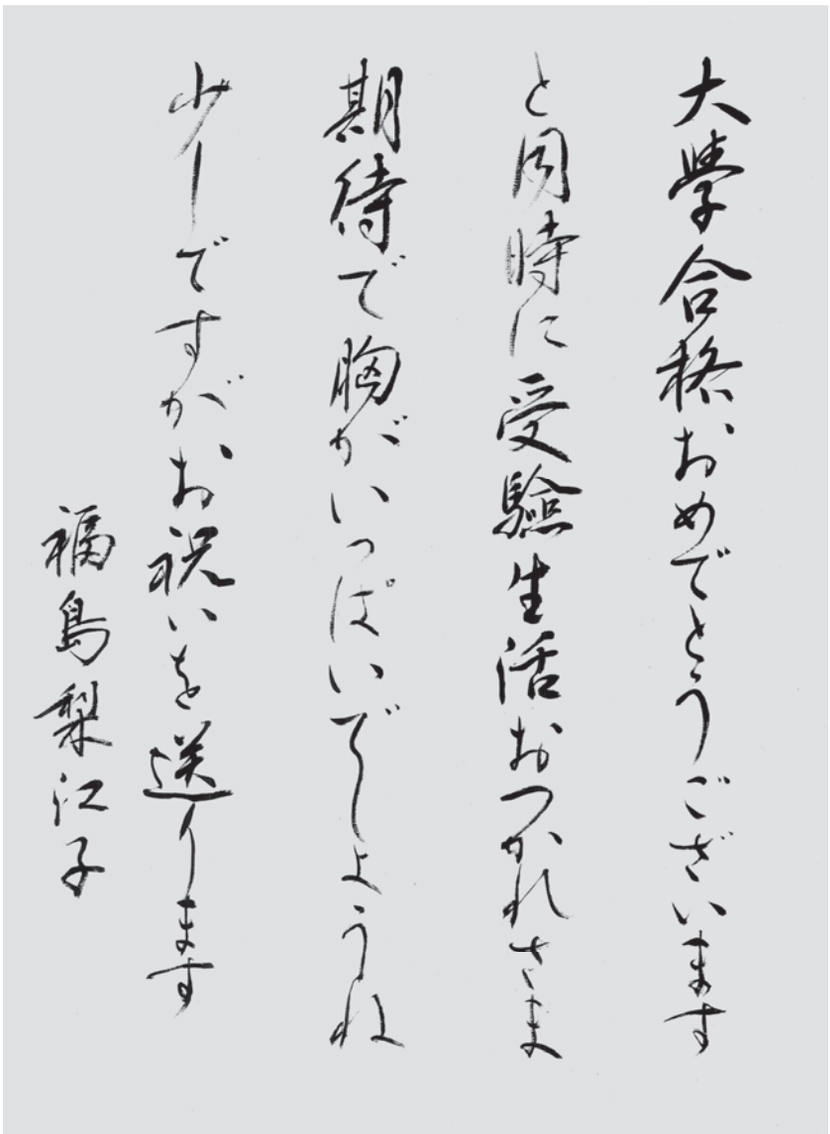
〔大意〕揚柳の烟りそめるにも春のきたのが知られ、杏花の咲き始めたのは赤くなって雨がよい香りがするので知られる。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕書道作品は、実用書・教育書道より更に変化、景色が要求されます。一字の中での疎密、偏と旁の間をあけて懐を広く、又はね払いは最後まで力を抜かぬように充実した線を心がけましょう。

一般部毛筆細字課題



半紙（３３４mm×２４０mm）

樋田玲華書

大学（學）合格おめでとうございます
と同時に受験（驗）生活おつかれさま
期待で胸がいっぱいでしょうね
少しですがお祝いを送ります
（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

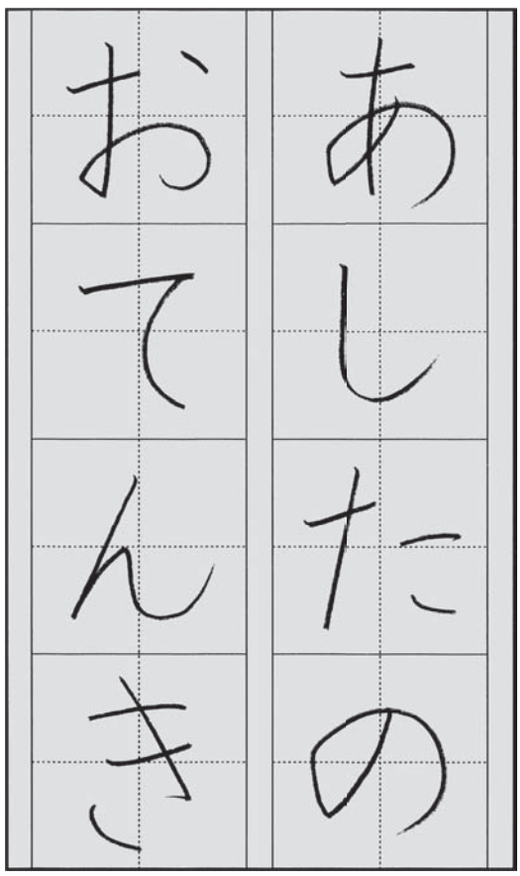
〔条幅・細字作品の出し方〕

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。
■成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。
■書体変換、変体仮名の交換は自由です。

教育部硬筆課題（きょういくぶこうひつかだい）

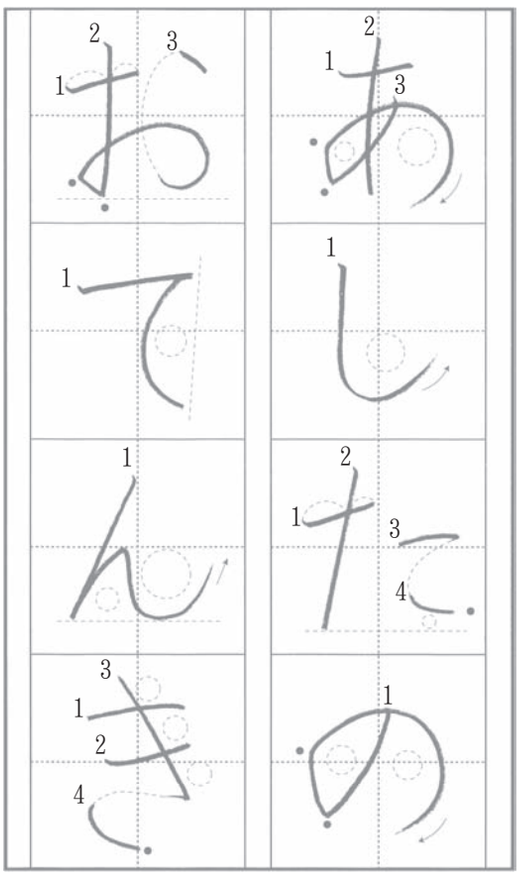
しめきり　４月２３日（必着）

ようす年



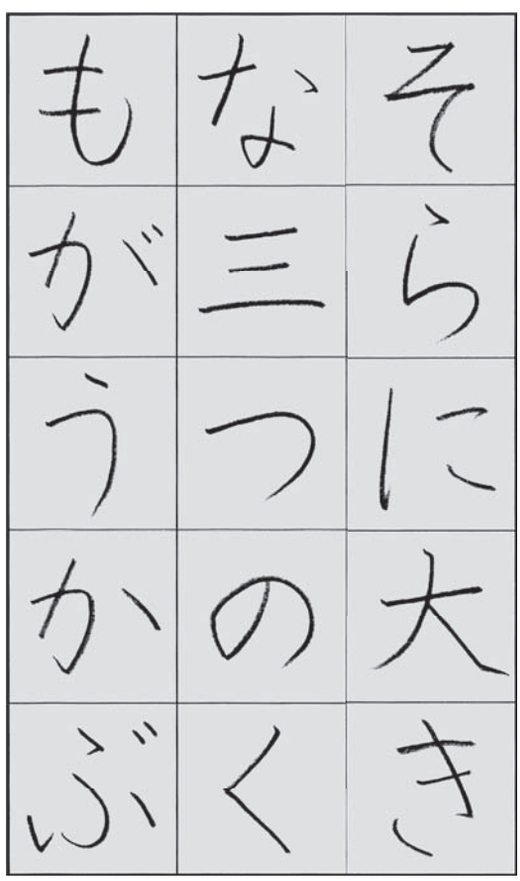
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング（なぞってかいてみよう）



〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）

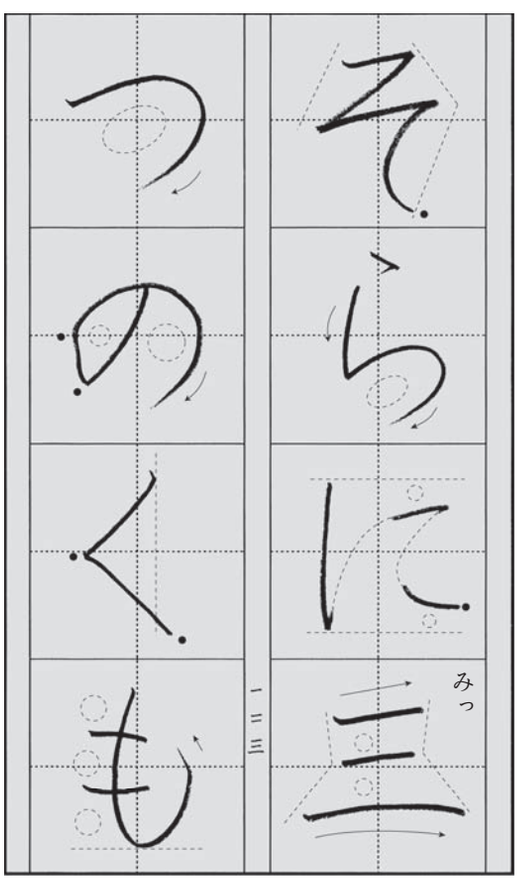
新小一年



（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上

幼年～小三年まで　三宅容玉書（みやけようぎょく）



新入～1級

教育部硬筆課題（きょういくぶこうひつかだい）

しめきり　４月２３日（必着）

新小二年

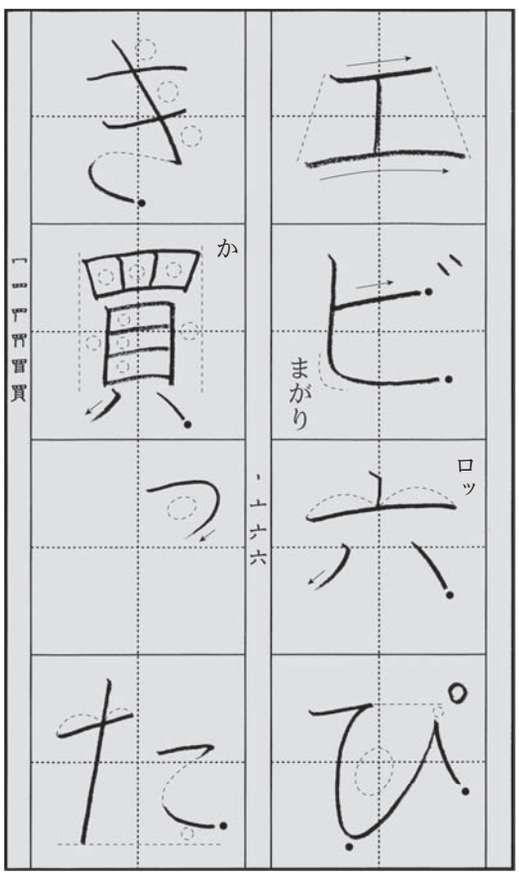
準初段以上

新小三年

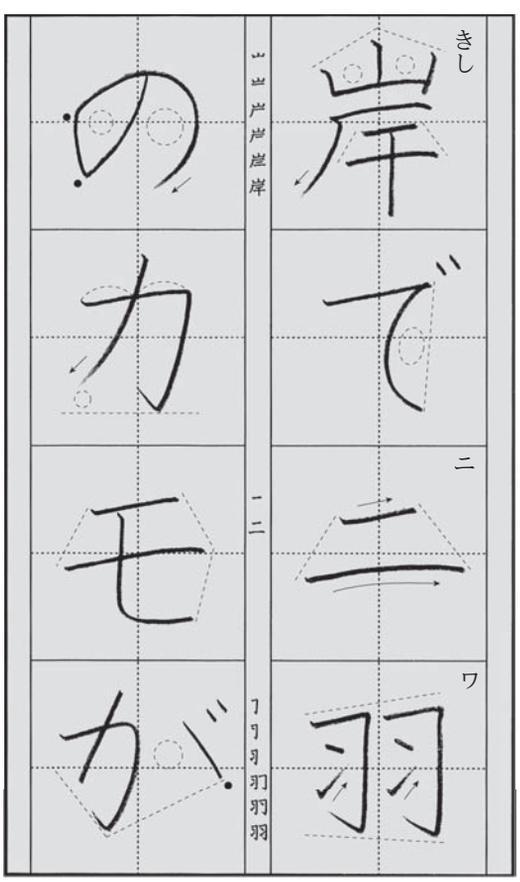
準初段以上

（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）



新入～1級

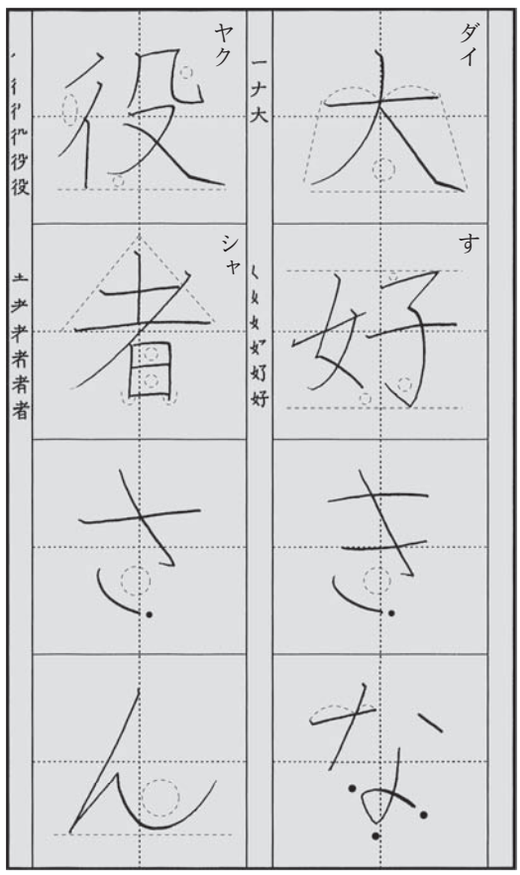


新入～1級

教育部硬筆課題

しめきり　４月２３日(必着)

新小四年



（全員）

新小五年

（全員）

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

＊用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬(かた)くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。

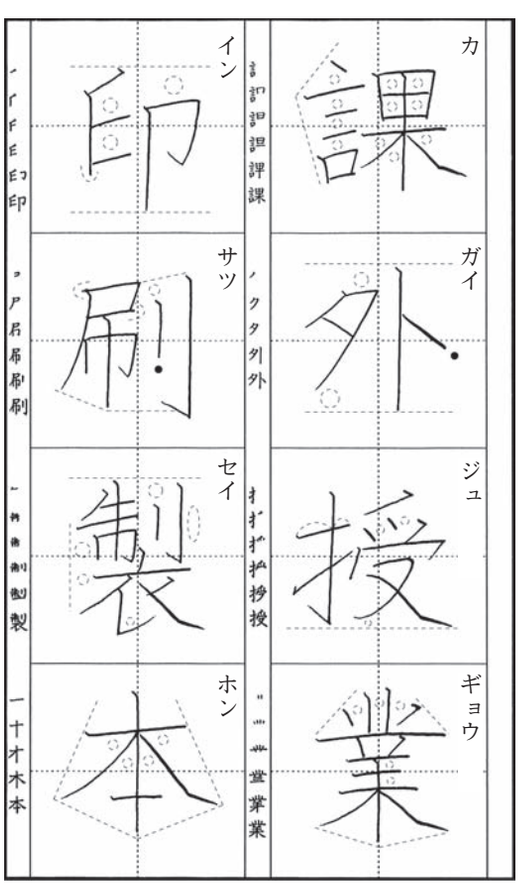
＊六月締切り分までは、この方法を続けます。

＊ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。

＊七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由（黒色に限る）

解説（よく見て習いましょう）



小四年以上　岡嶋桂川(おかじまけいせん)書

教育部硬筆課題

しめきり　４月２３日（必着）

新小六年

昔近くの鉱
山で地下資
源が採れた

（全員）

新中一年

新鮮な卵で
作った半熟
の目玉焼き

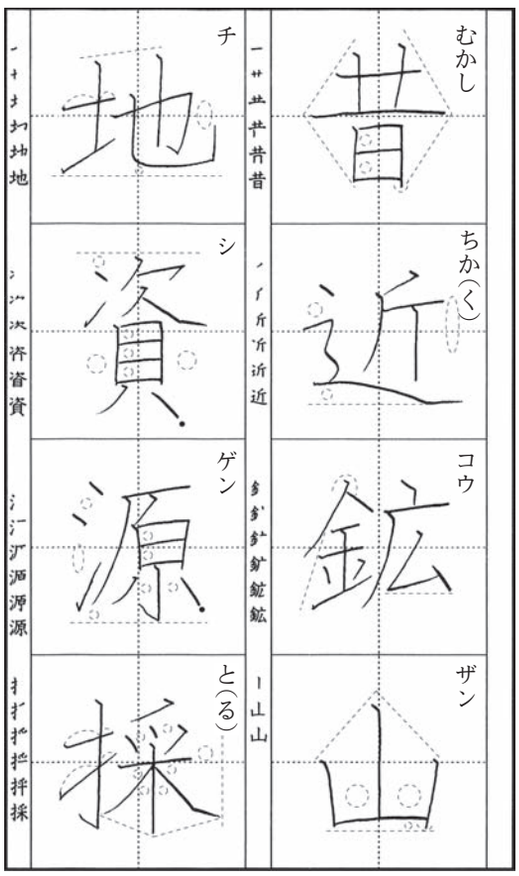
（行書）

新中二・三年

健康を気遣
い五穀米を
取り入れた

（行書）

解説（よく見て習いましょう）



〈用具〉自由（黒色に限る）

◎お手本はつけペン使用

しめきり　4月23日(必着)

こどものひろば

幼年

きちんと
あいさつ
できる
よいこ

新小一年

人はみぎ
くるまは
ひだりを
とおります

新小二年

よい子は
先生の
おはなしを
よくききます

新小三年

交通ルールを
きちんとまもり
みんな楽しく
あそびます

新小四年

やさしい心が
一つになれば
美しい社会が
生まれます

新小五年

かん単なようで
できない親切
勇気を出して
実行しよう

新小六年

最上級生という
自覚をもって
この一年を
大事に過ごそう

新中一年（楷書）

大きな夢を抱き
明日に向かって
急がず着実に
前進していこう

新中二・三年（行書）

大きな夢を抱き
明日に向かって
急がず着実に
前進していこう

▼今月は、席書大会開催に合わせて特別に席書課題をひろばの課題とします。本番に向けてサインペンで練習してみましょう。

▼4行用紙のない場合は、いつも通り5行用紙に書いても構いません。体裁よく収めてください。用具も自由です。

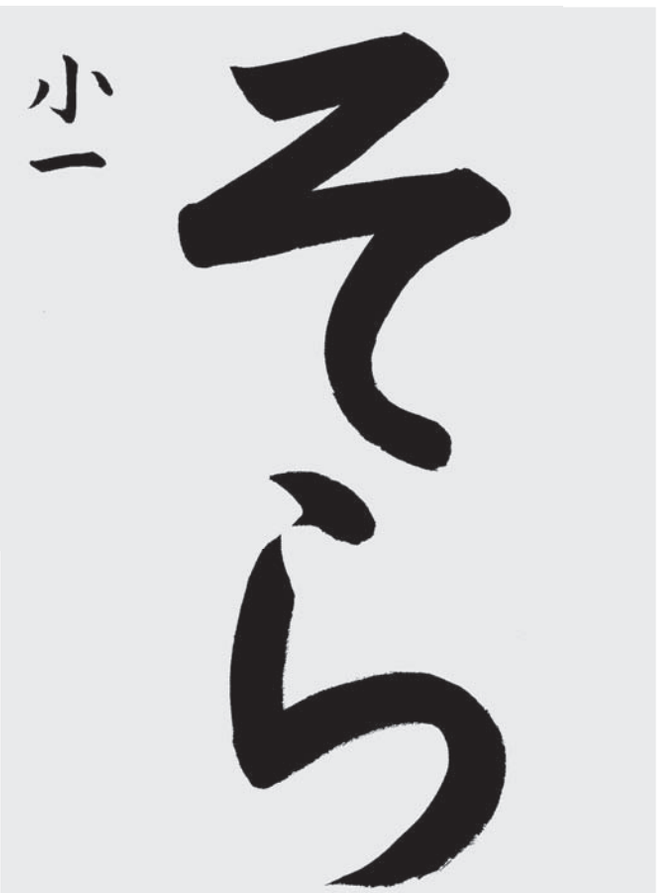
幼年～新小二年

玉樹小華書

小二

さい

小一



教育部毛筆課題

しめきり　4月23日(必着)

小三

小五

小四

新小三～新小五年

水野香竹書

教育部毛筆課題

しめきり　4月23日（必着）

新小六～新中二・三年　奥村暢之（おくむらのぶゆき）書

小六

中二・三

中一

※行書は線の連なりを大切に！